

【基本目標3】 人や企業・資本が流入する兵庫をつくる

(1) 人や企業・資本の流入促進

地域の持続的成長を担う人材を確保するため、兵庫への新しい人の流れをつくり、人材の流出を流入(UJIターン)へと転換させる。また、三大都市圏からの本社機能の移転など、県内外からの企業立地・投資を呼び込む取組を推進し、経営者や技術者、研究者等の高度な技術・技能を有する外国人材の確保にも積極的に取り組む。

【主要事業の概要および KPI】

基本目標 3-(1)① 兵庫で活躍する人材の誘致

(上段：目標、下段：実績)

| 総括KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 県の支援によるUJIターン 就職者数※1 | | 430人/年 | 430人/年 | 430人/年 | 430人/年 | 430人/年 |
| | 399人/年 (H26) | 448人/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 104.2% | | | | |
| | | A | | | | |
| 県内大学卒業生の県内企業への就職率※2 | | 30.4% | 31.0% | 31.6% | 32.3% | 33.0% |
| | 29.8% (H26年度 卒業生) | 29.8% | | | | |
| 達成率・評価 | | 98.0% | | | | |
| | | B | | | | |

【目標設定の考え方】 ※1：県支援により実際に就職した者についてH26年度実績に基づき430人/年を目標に設定

※2：H31年度での県内企業就職率3割を目指し、平成28年度目標を31.0%に設定

(H31年度の目標値は県立大学次期中期計画(H31~36)策定時に設定)

1 (新)首都圏・近隣大学への兵庫の企業広報事業(産業労働)5,518千円

兵庫の企業情報提供、UJIターン希望者を把握するため、UJIターンして兵庫で就職を目指す学生を対象に就職活動を支援

○県内高校出身者が在籍する大学キャリアセンターへの広報、学生支援

○UJIターン登録Webサイトの立ち上げと学生の登録促進

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------|-----------------|-------|--------|--------|--------|--------|
| UJIターン希望登録者 数 | | — | 100人/年 | 100人/年 | 100人/年 | 100人/年 |
| | — | — | | | | |
| 達成率・評価 | | — | | | | |
| | | — | | | | |

【目標設定の考え方】 H28年度以降、100人/年の登録者増加を目標に設定

2 (新)高校・大学生「兵庫就活」促進事業(産業労働)30,000千円

高校生の県内就職の促進と大学卒業時の県内企業への就職活動を促すため、県内企業の魅力等を掲載した企業ガイドブック(QRコード登録者に情報提供)の配付等を実施

○高校生向け

・企業ガイドブックの発行 県内高校2年生全員(50,000部)

○大学生向け

・企業ガイドブックの発行(12,000部)

・企業課題研究事業の実施(発表会1回)

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---------------------|-----------------|-------|----------|----------|----------|----------|
| ガイドブックQRコード 登録者数 | — | — | 4,000人/年 | 4,000人/年 | 4,000人/年 | 4,000人/年 |
| 達成率・評価 | | — | | | | |

【目標設定の考え方】 H28年度以降、高校から大学等への進学者の1割程度(4,000人/年)の登録者増加を目標に設定

3 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)の実施(企画県民)

地方創生に向け学卒者の地元定着等を促進するため、大学が自治体や企業等との連携のもと、地域志向型の新たな教育プログラムを開発し、多様な地域課題に応える実践力を備えた人材を育成

○事業名 地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム

(申請大学：神戸大学(県及び県立大学等が事業協働機関として参画))

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| COC+事業等によるイン ターンシップ参加者数 | 3,917人/年 (H26) | 4,105人/年 | 4,127人/年 | 4,139人/年 | 4,231人/年 | 4,248人/年 |
| 達成率・評価 | | 97.1% | | | | |
| | | B | | | | |

【目標設定の考え方】 神戸大学、兵庫県立大学など主要大学の参加者数1割増加(H31年度)を目指し、H28年度目標を4,127人に設定

4 (拡)首都圏でのUJIターン合同企業説明会(産業労働)10,000千円

大学卒業時の地元就職と県外からのUJIターン就職を促進するため、首都圏及び大阪において合同企業説明会を開催

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 説明会参加者数 | 31人/年 (H27) | 90人/年 | 400人/年 | 400人/年 | 400人/年 | 400人/年 |
| 達成率・評価 | | 176.7% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 事業拡充に伴いH28年度以降、400人/年の参加者を目標に設定

5 「ひょうご応援企業」就職支援事業(産業労働)8,577千円

兵庫で就職を希望する若者を積極的に採用する「ひょうご応援企業」と若者のマッチングを促進するため、応援企業の雇用相談や企業紹介、面接会・大学内企業説明会を開催

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--------------------|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| ひょうご応援企業新規 登録社数 | 40社/年 (H26) | 60社/年 | 60社/年 | 60社/年 | 60社/年 | 60社/年 |
| 達成率・評価 | | 118.3% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H27年度以降の新規登録社数について、現状を上回る60社/年を目標に設定

6 大学生インターンシップ推進事業（産業労働）19,002千円

中小企業における人材確保を図るため、大学生を対象としたインターンシップを実施

- 県・商工会議所・経営者協会等による連絡協議会で、受入企業の実習プログラム作成支援、既受入企業によるアドバイスセミナーの実施
- 大学生インターンシップ（ビジネスマナー等を習得する事前学習会、インターンシップ）の実施

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------|-----------------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 大学生のインターンシップ参加者数 | | 300人/年 | 400人/年 | 400人/年 | 400人/年 | 400人/年 |
| | 274人/年 (H26) | 391人/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 130.3% A | | | | |

【目標設定の考え方】 H26年度実績に基づき300人/年の参加者を目標に設定

【目標値見直しの理由】 予算額を増額したため、参加者数の目標値を引き上げる

7 高校生就業体験事業～インターンシップ推進プラン～（教育委員会）4,927千円

社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質・能力を育成するため、すべての生徒を対象に、職場や地域の企業等における就業体験を実施。

- 事業所等におけるインターンシップ
- 地域の職業人、キャリアアドバイザー等による進路講演会、職業ガイダンス等

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------|-----------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 全県立高等学校における就職希望者の就業体験事業の実施 | | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |
| | 68.5%(H26) | 81.3% | | | | |
| 達成率・評価 | | 81.3% C | | | | |

【目標設定の考え方】 各年度100%の実施を目指す

【KPI未達成の理由等】 生徒が希望する企業・業種と事業の対象となった企業・業種にギャップがあったため。今後は、生徒、学校の状況に応じて実施すべく、引き続き周知と理解を図る

8 移住・定着の促進

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------|-----------------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 移住相談件数(累計) | | 200件 | 1,400件 | 2,600件 | 3,800件 | 5,000件 |
| | — | 204件 | | | | |
| 達成率・評価 | | 102.0% A | | | | |

【目標設定の考え方】 5年間で5,000件の相談を目指し、H28年度目標を1,400件(累計)に設定

(1) (拡)カムバックひょうご東京センターの運営（政策創生）25,261千円

東京圏からのUJIターンを促進するため、「カムバックひょうご東京センター」を設置。平成28年度から新たに、移住希望者のお試し訪問の助成を実施

- 設置場所 東京都千代田区大手町(「ひょうご出会いサポート東京センター」に併設)
- 事業内容 東京圏からのUJIターンを促進する移住相談・広報活動
移住フェア・転職フェアへの出展、本県出身者の多い大学への訪問など
- 移住促進策 (拡)移住希望者のお試し訪問にあたり、宿泊代を市町とともに助成

(2) (新)スマートフォンを活用した東京圏への情報発信事業（政策創生）2,397千円

東京圏からのUJIターンを促進するため、起業や移住に関するスマートフォン対応地域情報サイトにより情報発信を実施

(3) (新)マスメディアの活用による『ひょうご五国の地域創生』の広報展開(政策創生)20,154千円

他府県との差別化を図りつつ効果的な広報展開を図るため、マスメディアの発信力を活用し、「ひょうご五国」の魅力を国内外に広く発信

- 地域創生版ファミトリップ（テレビ・雑誌等マスメディアのロケ・取材誘致）
- 首都圏等でのフリーペーパー・WEB広告の活用 等

9 (拡)ふるさと起業・移転促進事業（産業労働）45,000千円

県外での職業経験やネットワーク等を生かして県内で起業・第二創業するUJIターン者、に加え、県外事業所を県内移転する者を支援するため、新事業展開等に係る経費を補助

- 対象経費 起業・事業所移転にかかる経費：事務所開設費、備品費、広告宣伝費等
移住にかかる経費：移転費、住宅家賃等
- 補助額 起業・事業所移転にかかる経費：1,000千円（補助率1/2以内）
移住にかかる経費：1,000千円（補助率1/2以内）

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--------|-----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| 事業創出数 | — | 20件/年 24件/年 | 20件/年 | 20件/年 | 20件/年 | 20件/年 |
| 達成率・評価 | | 120.0% A | | | | |

【目標設定の考え方】 事業創出数について、20件/年を継続することを目標に設定

10 ふるさと企業就職活動支援事業（産業労働）1,000千円

新規学卒者、UJIターン就職希望者の県内中小企業への就職を促進するため、面接選考時に旅費を支給する中小企業に助成

- 対象企業 北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路に本社又は主たる事務所を置く中小企業、社会福祉法人、医療法人
- 対象者 新規学卒者、UJIターン就職希望者(対象地域外居住、採用予定時45歳未満)
- 補助額 中小企業主が負担した面接旅費の1/2以内

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------|-----------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 助成件数(累計) | — | 40件 39件 | 80件 | 120件 | 160件 | 200件 |
| 達成率・評価 | | 97.5% B | | | | |

【目標設定の考え方】 5年間で200件の支援を目指し、H28年度目標を80件(累計)に設定

11 (新)首都圏等における人材確保充実事業（人事委員会）6,680千円

兵庫で活躍する人材誘致、UJIターンを促進するため、首都圏等での人材の確保を充実

- 首都圏での職員採用説明会等の実施
 - ・首都圏大学出身の若手職員をリクレーターとして指定し、首都圏大学等で説明会の実施
 - ・経験者採用試験に関する職員採用説明会の実施

- 首都圏での就職博・転職博への出展
- 首都圏等での広報活動の実施
 - ・都心主要駅での広告掲載
 - ・中国、四国、近畿各地域の大学においてもリクルーターを活用した説明会の実施
- 採用試験の（東京会場）実施
 - ・行政A（大卒程度）・資格免許職、経験者（A・B）採用試験の東京会場の新設

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--------------|-------------------------------|-------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 東京会場受験合格者の割合 | | — | 行政A等1.1% 経験者1.8% | 行政A等1.1% 経験者1.8% | 行政A等1.1% 経験者1.8% | 行政A等1.1% 経験者1.8% |
| | 行政A等0.6%(H27) 経験者1.2%(H26) | — | | | | |
| 達成率・評価 | | — | | | | |
| | | — | | | | |

【目標設定の考え方】過去5年間の実績平均に基づきH28年度以降の東京会場受験合格者の割合（東京会場受験合格者/全受験者）行政A等1.1%、経験者1.8%を目標に設定

基本目標3-(1)② 企業の立地・投資の促進

| 総括 KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 企業立地件数(累計) ※1 | | 179件 | 358件 | 537件 | 716件 | 895件 |
| | 139件/年 (H26年) | 183件 | | | | |
| 達成率・評価 | | 102.2% | | | | |
| | | A | | | | |
| 企業立地による雇用創 出数(累計) ※2 | | 1,464人 | 2,928人 | 4,392人 | 5,856人 | 7,320人 |
| | — | 1,526人 | | | | |
| 達成率・評価 | | 104.2% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】※1：5年間で895件(国内企業700件、外国・外資系企業125件、IT関連企業70件)の立地を目指し、H28年度目標を358件(累計)に設定

※2：5年間で7,320人(国内企業7,000人、外国・外資系企業250人、IT関連企業70人)の雇用創出を目指し、H28年度目標を2,928人(累計)に設定（1社当たりの新規雇用実績に立地件数を乗じて算出）

1 (拡)産業立地促進補助の実施（産業労働）1,792,216千円

県内全域での幅広い産業立地促進し、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図るため、産業立地促進補助や税の軽減措置を実施

| 区 分 | 補助率等 |
|--------------------------|--|
| 雇 用 補 助 | 対 象 新規正規雇用者11人以上（促進地域 6人以上）、 設備投資額5千万円以上（促進地域、本社機能立地以外） 補助単価 新規正規雇用30万円/人（促進地域 60万円/人） 新規非正規雇用30万円/人（促進地域のみ） 補助限度額 3億円 |
| 設 備 投 資 補 助 | 対 象 先端事業に係る設備投資額が20億円〔中小企業は10億円〕以上（促進 地域 1億円以上、先端性不要） 補 助 率 投資額の3%以内（促進地域 5%以内） 補助限度額 上限なし（原則10年均等分割） |
| 研 究 開 発 型 設 備 投 資 補 助 | 対 象 設備投資額が5億円以上（促進地域 1億円以上） 補 助 率 投資額の5%以内（促進地域 7%以内） 補助限度額 上限なし（原則10年均等分割） |

| | |
|-----------------|--|
| 本社機能立地設備投資補助 | 対象 県外三大都市圏若しくは外国からの本社機能移転又は県内本社機能の新増設で、設備投資額が20億円以上（中小企業10億円以上、促進地域1億円以上） 補助率 投資額の5%以内（促進地域7%以内） 補助限度額 上限なし（原則10年均等分割） |
| 外資系企業向けオフィス賃料補助 | 対象 外国・外資系企業等 補助率 賃料×1/2（県1/4、市町1/4） 補助限度額 200万円/年、3年間 |
| オフィス立地促進賃料補助 | 対象 オフィスビル等の入居企業で新規正規雇用11人以上（促進地域6人以上） 補助率 賃料×1/2（県1/4、市町1/4） 補助限度額 200万円/年、3年間 |
| 新産地促進賃料補助 | 対象 中核施設に入居する新産業分野の企業（促進地域以外は中小企業に限る） 補助率 賃料×1/2（県1/4、市町1/4） 補助限度額 200万円/年、3年間 |
| ④ 外資系企業設立支援補助 | 対象 外国・外資系企業の日本本社 補助率 ①法人登記経費等×1/2、②市場調査経費等×1/2 補助限度額 ①20万円/社、②100万円/社 |

○新たな税の軽減措置の導入

- ・ 法人事業税 外国からの本社機能立地に対する軽減措置を新設（軽減率）一般地域1/3、促進地域1/2
- ・ 不動産取得税 本社機能の立地促進のため、軽減措置の対象を一般地域にも拡充

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------------------|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 企業立地件数(累計) (国内企業、外国・外資系企業) | | 165件 | 330件 | 495件 | 660件 | 825件 |
| | 134件/年(H26) | 178件 | | | | |
| 達成率・評価 | | 107.9% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】5年間で825件(国内企業700件、外国・外資系企業125件)の立地を目指し、H28年度目標を330件(累計)に設定

2 企業立地活動の展開

(1) ひょうご・神戸投資サポートセンター事業（産業労働）51,460千円

戦略的な企業立地活動を展開するため、立地完了までに必要となるサービスをワンストップで提供

- 実施主体 (公財)ひょうご産業活性化センター
- 所在地 ひょうご・神戸投資サポートセンター(神戸商工貿易センタービル内) ビジネスサポートセンター・東京(都道府県会館内)

(2) (新) 兵庫ゆかりの企業へのアプローチ事業（産業労働）10,000千円

三大都市圏に偏在する企業の本社機能や研究開発拠点の県内移転を図るため、兵庫ゆかりの企業(本県発祥で現在は県外三大都市圏に本社を有する企業等)に働きかけ

- 本県ゆかりの企業のリストアップ
- 移転等の働きかけのための企業訪問、立地環境のアピール等

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--------------------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ひょうご・神戸投資サポート センターによる企業訪問件数 | | 500 件/年 | 500 件/年 | 500 件/年 | 500 件/年 | 500 件/年 |
| | — | 650 件/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 130.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 5年間で2,500件の訪問を目指し、500件/年を目標に設定

3 戦略的企業誘致による産業用地の分譲推進

県産業用地への企業立地を促進するため、下記の企業誘致活動を積極的に展開

(1) (新)地域創生割引制度の創設（企業庁）

地域創生戦略に呼応して、県外から本社機能を移転する企業等を支援

- 対象用地 播磨科学公園都市研究開発産業用地・一般産業用地
淡路津名地区産業用地
- 対象企業 県外から本社機能を移転する企業
県内で本社機能を拡充する企業
- 割引率 20%（既存の割引制度と併用する場合、既存の割引率を1/2(10%)）
- 対象期間 平成28～31年度

(2) (拡)中小企業支援ゾーン制度の設定（企業庁）

地域経済を支える中小企業を支援するため、特別価格で分譲する「中小企業支援ゾーン」を設定

- 特別価格 播磨科学公園都市一般産業用地 C-13・15・16・D-1 : 10,000 円/㎡
淡路津名地区産業用地志筑地区全域 : 12,000 円/㎡
- 対象企業 県内に本社を有する中小企業
- 対象期間 平成28～31年度

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 当該用地への企業立 地件数 | | — | 2 件/年 | 2 件/年 | 2 件/年 | 2 件/年 |
| | — | — | | | | |
| 達成率・評価 | | — | | | | |
| | | — | | | | |

【目標設定の考え方】 H28年度以降、2件/年(播磨1件・淡路1件)の立地を目標に設定

4 (新)新たな産業団地の整備（企業庁）80,000千円

企業立地の促進や雇用の確保など地域創生に取り組むため、県企業庁と小野市が共同で新たな産業団地を整備

- 対象地域 小野市市場地区（約40ha）
- 事業期間 平成28～33年度（予定）
- 分譲時期 平成31年度一部分譲開始（予定）

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--------|-----------------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 事業実施 | | — | 事業着手 | — | 工事着手 | 一部 分譲開始 |
| | — | — | | | | |
| 達成率・評価 | | — | | | | |
| | | — | | | | |

【目標設定の考え方】事業実施スケジュールに基づき、H31年度の一部分譲開始を目指し、H28年度目標に事業着手を設定

5 (新)既存工場の事業継続支援に係る開発許可制度の弾力的運用(まちづくり)

既存工場が事業を継続するため市街化調整区域へ敷地拡大することを許可可能とする開発許可制度の弾力的な運用

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---------------|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 開発許可制度の弾力的な運用 | | 基準改正 | 運用開始 | — | — | — |
| | — | 基準改正 | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】早期の効果発現に向け、H28年度の運用開始を目標に設定

6 多自然地域における事業所の開設支援事業(産業労働) 19,777千円

多自然地域におけるIT関連企業の事業所開設を促進するため、事業者に対し以下の助成を実施

- 対象地域 但馬地域、丹波地域、淡路地域、西脇市、多可町、神河町、赤穂市、上郡町、佐用町、たつの市(旧新宮町区域)、宍粟市
- 補助対象事業
 - ・IT技術を活用した製品・ソフトウェア・コンテンツなどの開発
 - ・インターネットビジネス(ネット通販)などのサービス関連事業
 - ・コワーキングスペースの開設
- 補助内容

| 区分 | 賃借料 | 通信回線 使用料 | 人件費 [高度IT技術者] | 改修費 | 事務機器 取得補助 |
|------|---------------|---------------|------------------|---------------|---------------|
| 補助率 | 定額 (1/2相当) | 定額 (1/2相当) | 定額 | 定額 (1/2相当) | 定額 (1/2相当) |
| 補助額 | 600千円/年 | 600千円/年 | 1,000千円/人・年 | 1,500千円 | 500千円 |
| 補助期間 | 3年間 | | 3年間 | | |

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---------------------|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| IT関連企業の立地 件数(累計) | | 10件 | 14件 | 18件 | 22件 | 26件 |
| | 5件(H26) | 10件 | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】5年間で新たに20件の立地を目指し、H28年度目標を14件(累計)に設定

7 グローバル企業の立地促進

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------|-----------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 外国・外資系企業立地 件数(累計) | 21件(H26) | 25件 22件 | 50件 | 75件 | 100件 | 125件 |
| 達成率・評価 | | 88.0% C | | | | |

【目標設定の考え方】 H26年度までの実績に基づき5年間で125件の立地を目指し、H28年度目標を50件(累計)に設定
 【KPI未達成の理由等】 近年のアジア新興国の経済成長に伴う日本市場の相対的な縮小や日本国内での東京一極集中などにより、目標値まで到達しなかった。引き続き産業立地条例に基づく立地優遇策など取り組みの強化を図る

(1) (新)国際経済地区のインセンティブ強化（産業労働）6,000千円

外国・外資系企業の本社立地を促進するため、フィジビリティ・スタディ（F/S）調査経費や本社設立・移転時に必要となる経費に対する補助を実施

(2) 外国・外資系企業ネットワーク構築事業（産業労働）1,054千円

本県と外国・外資系企業とのネットワーク構築を図るため、下記事業を実施

- ・ 県内外国・外資系企業幹部との施策協議を行う「外資系企業サミット」
- ・ 外国・外資系企業と県内企業とのビジネスネットワーク創出を図る「ひょうご・神戸アラムナイネットワーク交流会」

基本目標3-(1)③ 競争力のある産業の創出による人・企業の流入促進

| 総括 KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------------|-----------------|--------------|-------|-------|-------|--------|
| 次世代産業における 雇用創出数(累計) | — | 156人 169人 | 369人 | 644人 | 920人 | 1,200人 |
| 達成率・評価 | | 108.3% A | | | | |

【目標設定の考え方】 次世代産業雇用創造プロジェクトによる5年間で1,200人の雇用創出を目指し、H28年度目標を369人(累計)に設定

1 次世代産業雇用創造プロジェクト（産業労働）358,975千円

安定的かつ良質な雇用を戦略的に創造するため、国庫事業を活用し、次世代産業分野(航空・宇宙、ロボット、環境・次世代エネルギー、先端医療等)の下記の取組を重点的に展開

○企業向け事業拡大支援

企業ネットワークづくり、技術・製品開発支援、販路開拓・マーケティング支援、事業連携促進、高度専門人材の育成等

○企業向け雇い入れ人材育成支援

事業拡大に伴う新規雇用者の人件費・研修費等を助成

○求職者向け人材育成・就職促進

職場体験による人材育成や企業説明会の開催等で支援

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------------|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| プロジェクト参加・支援 企業数(累計) | | 236社 | 491社 | 759社 | — | — |
| | — | 319社 | | | | |
| 達成率・評価 | | 135.2% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】次世代産業雇用創造プロジェクト(事業期間H29年度まで)におけるH27年度実績に基づき、H28年度目標を491社(累計)に設定

2 (新)次世代産業分野での企業間連携による成長促進事業(産業労働) 100,000千円

次世代産業分野(航空機、ロボット、先端医療、環境エネルギー)の成長促進のため、新規参入等に向けた生産体制の整備に対して支援

- 対象者 事業化等に向けて他者と連携を行う県内中小企業
- 補助率 設備投資額の1/3
- 補助上限 1,000万円/社

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事業拡大企業数 | | — | 10社 | 10社 | 10社 | 10社 |
| | — | — | | | | |
| 達成率・評価 | | — | | | | |
| | | — | | | | |

【目標設定の考え方】H28年度以降、10社/年の支援を目標に設定

3 (新)ロボットリハビリテーション拠点化推進事業(健康福祉) 14,484千円

最先端技術を活用した医療・介護用リハビリロボット等の拠点化を推進するため、福祉のまちづくり研究所(ロボットリハビリテーションセンター)を核とし下記の事業を展開

- 現場ニーズに即した研究開発・商品化
 - ・デジタルファブリケーション機器の整備(レーザーカッター等)等
- テクニカルエイド発信拠点の本格運用
 - ・県内展示3施設(福祉のまちづくり研究所、但馬長寿の郷、西播磨総合リハビリテーションセンター)連携事業の実施等
- リハビリテーション関連国際会議開催への支援
 - ・国際リハビリテーション工学・福祉機器学会(平成29年8月)
 - ・国際義肢装具協会世界大会(平成31年10月)

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-----------------------|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| ロボットリハビリテーション年間利用延べ人数 | | 2,000人/年 | 2,000人/年 | 2,000人/年 | 2,000人/年 | 2,000人/年 |
| | 1,978人/年 (H26) | 2,293人/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 114.7% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】H26年度までの実績に基づき2,000人/年を目標に設定

4 県立工業技術センターの共同・受託研究等の実施（産業労働）62,000千円

県内中小企業の技術力強化を図るため、中小企業の課題解決に対応した研究や戦略的な研究開発を実施

- 工業技術センターが研究者、機器、設備を提供し、企業と共同で研究開発を実施
- 技術指導・相談の一環として、製品開発の構想段階での試作や初期研究を受託し、技術開発の指導・助言を実施

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-----------------------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 県立工業技術センターにおける共同・受託研究等の実施件数 | | 550件/年 | 550件/年 | 550件/年 | 550件/年 | 550件/年 |
| | 535件 (H24~26平均) | 831件/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 151.1% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H24~26年度実績平均に基づき550件/年を目標に設定

5 (新)医療とものづくり産業を結ぶ医・産・学連携拠点の形成（企画県民）40,498千円

医療とものづくり産業の連携による先端医療機器開発を図るため、県立大学が医用工学の先端研究成果を活用し、医療機関、県内ものづくり企業等と連携し下記の取組を展開

- 医産学連携拠点(姫路駅前)の運営
 - ・医療機器等の開発・改良に関する企業への技術相談・情報提供、共同研究開発のマッチング支援等
- 医療現場における先端医療機器共同研究開発
- 医産学連携推進の体制整備

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-----------------------|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 県立大学における共同・受託研究件数(累計) | | 205件 | 210件 | 215件 | 220件 | - |
| | 197件 (H26累計) | 207件 | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.1% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 中期計画に定める H30 年度目標 220 件(累計)を目指し、H28 年度目標 210 件(累計)に設定
※H31 年度の目標は、次期中期計画(H31~36 年度)策定時に設定

6 ひょうご産学官連携コーディネーター活動促進事業（産業労働）10,916千円

産学官連携による次世代産業等の育成を図り、企業・大学の産学連携ニーズに対応するため、コーディネーターの強化やスキルアップを支援

- 事業内容 新産業創造研究機構(NIRO)による「ひょうご産学官連携コーディネーター協議会」の運営を支援(勉強会、ひょうご産学官連携研究会の開催等)

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-----------------------------|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| コーディネーター協議会による コーディネート件数 | | 25件/年 | 25件/年 | 25件/年 | 25件/年 | 25件/年 |
| | 33件/年(H26) | 35件/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 140.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H26年度までの実績に基づき25件/年に目標を設定

7 ひょうご新産業創造ファンドによる支援（産業労働）

資金面での支援や経営・技術指導等のハンズオン支援を通じて、次世代の兵庫を担う成長産業を創造するため、研究開発型ベンチャー企業等に投資

○投資対象 県内に本社・拠点を有し主に初期段階にある研究開発型ベンチャー企業

○資金規模 10億円 （参考）平成27年度末投資実績 451,020千円

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ひょうご新産業創造ファンド による支援件数(累計) | | 9件 | 12件 | 15件 | — | — |
| | 7件 (H26 累計) | 8件 | | | | |
| 達成率・評価 | | 89.9% | | | | |
| | | C | | | | |

【目標設定の考え方】 ファンド創設(H23年度)からH29年度までに15件の支援を目指し、H28年度目標を12件(累計)に設定

【KPI未達成の理由等】 投資先を慎重に選定しているところであるが、投資総額では、1件平均5,000万円×9件の想定に対して、8件で4.5億円の実績となっている。平成28年度は、現時点で3件程度の新規投資を予定

(2) 人や企業が流入する基盤づくり

東京圏への人口、経済の一極集中を是正し、地域への人や企業、資本の流入を促すため、地域間連携や地域活性化の促進を強化する公共交通・ICTインフラ等の基盤整備、地域に応じたエネルギーの確保によるエネルギー自立性向上を目指す取組等を推進する。

【主要事業の概要およびKPI】

基本目標 3-(2) ① 便利で快適な公共交通の実現

(上段：目標、下段：実績)

| 総括KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 住んでいる地域の公共交通は便利だと思う人の割合 | | 55.7% | 56.8% | 57.8% | 58.9% | 60.0% |
| | 54.6% (H26年) | 55.0% | | | | |
| 達成率・評価 | | 98.7% | | | | |
| | | B | | | | |

【目標設定の考え方】 5年間で「便利だと思う人」の割合約5%増を目指し、H28年度目標を56.8%に設定

1 バスへの支援

(1) 生活交通バスへの支援（県土整備）408,260千円

生活交通バスの維持・確保に向け、路線バスの運行等を支援

○路線バスに対する支援（国庫協調補助）（126,475千円）

- ・複数市町にまたがり、1日の運行回数3回以上の路線バスの運行を支援
- ・主として上記対象システムの運行に供する車両の購入費用を補助

○路線バスに対する支援（県単独補助）（281,785千円）

- ・複数市町にまたがり、1日の運行回数10回以下の路線バスの運行を支援

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-----------|---------------------|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| 乗合バスの輸送人員 | | 現状以上 | 現状以上 | 現状以上 | 現状以上 | 現状以上 |
| | 24,069万人/年 (H25) | 24,273万人/年 (H26) | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.8% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 便利で快適な公共交通の維持を目指し、毎年度現状以上に設定

(2) (新) 交流人口増加に向けた生活交通バス活用事業（県土整備）5,000千円

交流人口の増加による生活交通バス（路線バス・コミバス）の維持・確保に向け、(公社)兵庫県バス協会が主体となって実施する社会実験に対して支援

○事業内容

- ・生活交通バスを活用したモデルルートや沿線観光資源等を発信するウェブサイトの立ち上げ
- ・生活交通バスで巡る観光キャンペーンの実施
- ・社会実験結果の調査分析 等

○全体事業費 10,000千円（うち県支援：全体企画、調査分析に要する経費）

(3) (拡) バス利便性向上の促進（県土整備）35,283千円

バス利用者の利便性を高めて、路線バス事業の活性化を図り、将来にわたる移動手段を確保するため、バスロケーションシステム・ICカードシステムの導入を支援

- バスロケーションシステム（1,831千円）
 - ・補助対象 複数市町にまたがる民営路線バス事業者
 - ・補助対象経費 システム構築費、営業所端末費、車載器
- (新)ICカードシステム（33,452千円）
 - ・補助対象 複数市町にまたがる民営路線バス事業者
 - ・補助対象経費 システム構築費、営業所端末費、車載器

(4) コミュニティバスに対する支援（県土整備）52,227千円

生活交通バスの維持・確保に向け、コミュニティバスの運行等を支援

○運行支援

- ・路線要件 市町が主体となって運行する系統
利用者を選定せず地域住民誰もが利用できる系統 等

○自主運行バス立ち上げ支援

- ・支援内容 地域住民やNPO等が主体となって計画、運行する自主運行バスの立ち上げ費用を助成

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------|-----------------|--------------|-------|-------|-------|-------|
| 自主運行バスの 立ち上げ支援数 (累計) | 14 地域 (H26) | 17地域 14地域 | 19地域 | 21地域 | 23地域 | — |
| 達成率・評価 | | 82.4% C | | | | |

【目標設定の考え方】 実績を踏まえ、平成30年度23地域の支援を目指し、H28年度目標を19地域に設定
H31年度以降の目標は次期計画策定時に設定

【KPI未達成の理由等】 市町と地域住民との協議に時間を要し、結果的に自主運行バスの立ち上げに至らなかった

2 鉄道への支援

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---------|--------------------|----------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 鉄道の輸送人員 | 12.7 億人/年 (H24) | 現状以上 12.9 億人/年 (H25) | 現状以上 | 現状以上 | 現状以上 | 現状以上 |
| 達成率・評価 | | 101.6% A | | | | |

【目標設定の考え方】 便利で快適な公共交通の維持を目指し、毎年度現状以上に設定

(1) (新)神戸電鉄粟生線の活性化に向けた支援（県土整備）5,000千円

神戸電鉄粟生線の活性化を目指し、利活用方策検討の一環として、神戸市、交通事業者及び地元と連携して実施する社会実験に対して支援

- 事業主体 (仮称) 神戸複合産業団地交通環境改善協議会
※構成：県、神戸市、神戸電鉄、地域団体
- 事業内容 木津駅から神戸複合産業団地への巡回路線バス運行 等

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------|---------------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 神戸電鉄粟生線の 利用者数 | | 7,000 千人/年 | 同左 | 同左 | 同左 | 同左 |
| | 6,561 千人/年 (H26) | 6,459 千人/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 92.3% | | | | |
| | | B | | | | |

【目標設定の考え方】神戸電鉄粟生線地域公共交通総合連携計画（H25～28年度）の目標値
H29年度以降の目標は、H28年度中に見直し予定

(2) 北神急行電鉄安定運行対策の支援（県土整備）135,000 千円

北神急行の運賃を維持するため、集中的な老朽化対策を支援

○支援期間 5年間（H26～30年度）

○老朽化対策 変電設備の更新、車両制御器の更新

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-----------------|---------------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 北神急行電鉄の 利用者数 | | 現状以上 | 現状以上 | 現状以上 | 現状以上 | 現状以上 |
| | 9,105 千人/年 (H26) | 9,132 千人/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.3% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】北神急行電鉄安定運行を目指し、毎年度現状以上に設定

(3) 鉄道軌道安全輸送設備の整備推進（県土整備）124,958 千円

安全輸送の確保を図るため、国の補助制度を活用した施設整備を支援

○神戸電鉄（107,686 千円）

・事業内容 車両更新、落石等防護設備の整備 等

○北条鉄道（5,000 千円）

・事業内容 枕木の交換、軌道道床の砕石化 等

○北近畿タンゴ鉄道（12,272 千円）

・事業内容 レール交換、自動列車停止装置の整備 等

(4) 北近畿タンゴ鉄道の基盤管理への支援（県土整備）14,503 千円

上下分離方式の導入により経営改善を行う北近畿タンゴ鉄道に対し、鉄道を維持するため、必要な基盤管理費について関係自治体と協調して支援

○支援期間 10年間（H27～36年度）

○支援内容 線路・電路など基盤管理に要する費用

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------|---------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 北近畿タンゴ鉄道の 利用者数 | | 1,874 千人/年 | 1,905 千人/年 | 1,937 千人/年 | 1,968 千人/年 | 2,000 千人/年 |
| | 1,842 千人/年 (H26) | 1,866 千人/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 99.6% | | | | |
| | | B | | | | |

【目標設定の考え方】北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画のH31年度目標2,000千人/年を目指し、H28年度目標を1,905千人/年に設定

基本目標 3-(2)② ICT インフラの整備

| 総括 KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 超高速ブロードバンド 普及率 | 99.61%(H26年) | 99.74% | 99.81% | 99.87% | 99.92% | 99.96% |
| 達成率・評価 | | 100.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H31年度の普及率 99.9%以上を目指し、H28年度目標を 99.81%に設定

1 超高速ブロードバンド基盤未整備地域への超高速ブロードバンドサービスを提供するための施設整備の実施（政策創生）

超高速ブロードバンド未整備地域の基盤整備を目指す市町へ助言等の支援を実施し、未整備世帯の解消を目指す。

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---------------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 未整備世帯数の 解消 | - | 約2,900世帯解消 | 約1,800世帯解消 | 約1,300世帯解消 | 約1,000世帯解消 | 約1,000世帯解消 |
| 達成率・評価 | | 100.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H31年度の普及率 99.9%以上を目指し、H28年度目標を約 1,800 世帯解消に設定

2 携帯電話等エリア整備事業（政策創生）66,101 千円

県民がどの地域でも携帯電話を利用できる環境の実現に向けて、携帯電話事業者に過疎地域等の不感地区への参入を働きかけ、不感地区の解消を推進

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 携帯電話の不 感地区の解消 | 19地区 (H26) | 14地区以下 | 10地区以下 | 7地区以下 | 6地区以下 | 5地区以下 |
| 達成率・評価 | | 107.7% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H31年度に不感地区 5 地区以下を目指し、H28年度目標を 10 地区以下に設定

3 (拡)外国人観光客受入基盤整備事業（産業労働）50,000 千円

外国人観光客の受入促進を図るため、観光協会等が実施する基盤整備を支援

○ 外国人観光客受入基盤整備事業（40,000 千円）

- ・対象事業 観光案内所の整備（デスク、カウンターの設置等）、
観光施設等の多言語観光案内看板等の整備、
多言語Webサイト・動画、パンフレットの作成、
通訳サービスシステムの導入、公衆トイレ・旅館トイレの洋式化、
訪日外国人おもてなし研修の実施 等

・補助率 対象経費の 1/2

・補助限度額 1 団体あたり 5,000 千円

○ (新) Wi-Fi 環境整備支援事業（10,000 千円）

・対象施設 観光拠点施設（観光案内所、自然公園、美術館等）

・対象経費 無線 LAN 機器購入費、設備工事費

- ・補助率 民間施設 2/3 (補助上限：1施設あたり150千円)
市町立施設 1/2 (補助上限：1施設あたり100千円)

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--------|-----------------|----------------|--------|--------|--------|-------|
| 補助件数 | — | 20件/年 27件/年 | 120件/年 | 120件/年 | 120件/年 | 20件/年 |
| 達成率・評価 | | 135.0% A | | | | |

【目標設定の考え方】外国人観光客受入基盤整備事業20件/年、Wi-Fi環境整備支援事業100件/年の補助を目標に設定 (Wi-Fi環境はH28年度から3か年で300件を目標に設定)

4 (新) 県立施設等への公衆無線 LAN 整備事業 (政策創生) 56,340 千円

インバウンド対策を支援するため、県立施設等に公衆無線 LAN 環境を整備

○整備対象施設 71 か所

- ・博物館、美術館 6 か所
- ・都市公園、自然公園 10 か所
- ・県公館、県本庁舎、県民局・県民センター、県立病院 23 か所
- ・交流・集客施設 32 か所
(兵庫県国際交流協会、淡路夢舞台国際会議場、フラワーセンター等)

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 公衆無線LAN整備 箇所数 | — | — | 71か所 | — | — | — |
| 達成率・評価 | | — | | | | |

【目標設定の考え方】H28年度に全箇所の整備完了を目標に設定

5 公共施設等への公衆無線 LAN 環境の導入促進(政策創生)

市町の公共施設等へ公衆無線 LAN 環境の導入を促進

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-----------------------------|-----------------|--------------------|------------|------------|------------|------------|
| 公共施設等における公衆 無線LANの整備市町数※ | 12市町 (H26) | 12市町 以上 13市町 | 13市町 以上 | 14市町 以上 | 15市町 以上 | 16市町 以上 |
| 達成率・評価 | | 108.3% A | | | | |

※市町の複数の公共施設で公衆無線 LAN を整備している市町数

【目標設定の考え方】H31年度整備市町数16市町以上を目指し、H28年度目標を13市町以上に設定

基本目標3-(2)③ 地域からのエネルギー源の確保

| 総括 KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------|-----------------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 再生可能エネルギー 導入量 (H24 年度比) | +77 万 kW | +100 万 kW +121.8 万 kW | | | | |
| 達成率・評価 | | 121.8% A | | | | |

【目標設定の考え方】今後の導入目標については、H28年度検討

1 エネルギー自立のむらづくり支援事業（企画県民）25,393千円

多自然地域の集落(概ね50世帯程度)において、大規模災害時にも電力自給が可能なエネルギー自立のむらづくりを進めるため、再生可能エネルギー等による非常用電源導入に係る経費を支援

○事業内容

- ・非常用電源導入補助（補助限度額5,000千円、補助率1/2）
- ・非常用電源導入費用無利子貸付（貸付限度額50,000千円、貸付期間20年以内）

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------|-----------------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 「エネルギー自立のむら」認定集落数 | | 12集落/年 | 15集落/年 | 20集落/年 | 25集落/年 | 25集落/年 |
| | 12集落/年 (H27) | 12集落/年 | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.0% A | | | | |

【目標設定の考え方】集落の地域活動の取組ニーズの高まりを踏まえ、毎年目標を段階的に25地区まで増加

2 再生可能エネルギー等導入推進基金を活用したエネルギーシステムの整備（農政環境） 114,310千円（環境保全基金）

防災拠点施設等に、再生可能エネルギー等の地域資源を活用した災害に強い自立・分散型エネルギーシステムを導入

○平成28年度事業

| 実施主体 | 内容 | 設置施設 |
|------|------------------|------|
| 県 | 太陽光発電、蓄電池、屋内高所照明 | 県立学校 |
| 市町 | バイオマスボイラー | 温浴施設 |

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 災害に強い自立・分散型 エネルギーシステム導入箇所数 | | 18か所 | 4か所 | — | — | — |
| | — | 18か所 | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.0% A | | | | |

【目標設定の考え方】H28年度に予定全箇所の整備完了を目指し、H28年度目標を4か所に設定

3 地域の再生可能エネルギー導入促進

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------------|-----------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 地域主導の再生可能 エネルギー導入支援 件数(累計) | | 20件 | 30件 | 40件 | 50件 | 60件 |
| | 5件(H26) | 19件 | | | | |
| 達成率・評価 | | 95.0% B | | | | |

【目標設定の考え方】地域主導による再生可能エネルギーの導入に向け、毎年10件以上の支援を目標に設定

(1) 地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業（農政環境）100,235千円

（県債管理基金（融資枠）100,000千円、県予算（審査会設置・運営費）235千円）

再生可能エネルギー導入を促進するため、発電設備を新たに導入する地域の団体に対し、設備導入に必要な経費の一部を(公財)ひょうご環境創造協会が無利子貸付

(2) (新)水素エネルギーを活用した中山間地域型スマートビレッジ導入検討事業(農政環境)

33,389千円((公財)ひょうご環境創造協会に委託:委託料33,318千円)

再生可能エネルギーや水素エネルギーを活用したエネルギーの地産地消に必要な施設の検討、電力需給システムのモデル運転(シミュレーション)を行うなど、事業化可能性を調査

(3) 住民協働による小水力発電プロジェクト推進事業(農政環境)6,617千円

安定した発電量や収益が見込め、地域活性化につながる小水力発電の導入等を支援

○立ち上げ時の取組支援

・事業内容 勉強会、現地調査、先進地視察等

○基本調査・概略設計等補助

・事業内容 流況調査、測量調査、既存設備劣化診断等

(4) 再生可能エネルギー相談支援センターの運営(農政環境)5,485千円

(環境保全基金3,003千円、県予算2,482千円)

((公財)ひょうご環境創造協会に委託:委託料5,117千円)

再生可能エネルギーの導入促進及び省エネルギーの推進を図るため、設備の導入等に関する相談窓口を運営(設置場所 ひょうご環境創造協会)。

・技術的な助言や指導、電気等の専門家の派遣を実施

4 住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置特別融資の実施(農政環境)3,771,387千円

(融資枠46億円)

創エネルギー・省エネルギー設備の普及を図るため、住宅への創エネルギー・省エネルギー設備の導入に対し、低利な融資を実施

○対象設備 住宅用太陽光発電設備、家庭用燃料電池、家庭用蓄電池等

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 融資件数(累計) | | 1,250件 | 1,350件 | 1,450件 | 1,550件 | 1,650件 |
| | 1,158件 (H26末) | 1,239件 | | | | |
| 達成率・評価 | | 99.1% | | | | |
| | | B | | | | |

【目標設定の考え方】設備導入のニーズを踏まえ、1,650件の融資枠を設定(H31)し、毎年100件増加させ、平成28年度目標を1,350件に設定

5 水素エネルギー普及促進事業(企画県民)474千円

水素をエネルギーとして利用する水素社会に向けた取組の推進

(水素エネルギーの技術開発の進捗に応じて、目標設定)

6 企業庁メガソーラープロジェクト(企業庁)

再生可能エネルギーの普及拡大、及び保有資産の有効活用を図るため、大型太陽光発電施設を運営

○整備箇所 三田カルチャータウン、播磨科学公園都市等 12箇所32.4ha

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------------------|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 企業庁メガソーラー 発電出力 | | 29,600kW | 29,600kW | 29,600kW | 29,600kW | 29,600kW |
| | 23,000kW (H26) | 29,600kW | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H27年度にまでに完了した32.4haの大型太陽光発電設備の発電出力29,600kWの維持

7 下水処理場等における太陽光発電の導入促進（県土整備）702,536千円

電力消費量の多い流域下水道事業、流域下水汚泥処理事業において、購入電力量の削減等を図るため、太陽光発電設備を整備

○整備対象施設 県が管理する処理場

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 太陽光発電を導入した 処理場数(累計) | | 2箇所 (1,000kW) | 3箇所 (1,170kW) | 3箇所 (1,170kW) | 4箇所 (1,540kW) | 5箇所 (2,020kW) |
| | 2箇所(1,000kW) (H25) | 2箇所 (1,000kW) | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H31年度太陽光発電設備5箇所整備を目指し、H28年度目標を3箇所に設定

8 生野ダムにおける小水力発電の導入（県土整備）300,000千円

再生可能エネルギーの導入促進及び購入電力量の削減を図るため、小水力発電施設を整備

○事業主体 県、企業庁、姫路市、朝来市

○事業期間 平成27年度～平成29年度

| KPI | 目標設定の 起点(実績) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--------|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 事業実施 | | 事業着手 | — | — | 発電開始 | — |
| | — | 事業着手 | | | | |
| 達成率・評価 | | 100.0% | | | | |
| | | A | | | | |

【目標設定の考え方】 H30年度の発電開始を目指し、事業を推進

9 播磨臨海エネルギー自立圏構想検討事業（企画県民）669千円

播磨臨海部の産業集積地において、現地の立地企業等と共同し、工場のエネルギー融通や自家発電設備の共同設置等の実現可能性を検討（事業化検討結果に応じて、目標設定）

10 日本海側でのエネルギーセキュリティ検討事業（企画県民）936千円

北近畿におけるLNGの広域パイプラインの整備等にかかる検討

○北近畿エネルギーセキュリティ・インフラ研究会を開催し、国土強靱化等の観点から、日本海国土軸（富山～山口）のガスパイプライン、並びに太平洋側のバックアップ機能を果たす日本海側と太平洋側を結ぶガスパイプラインの整備等について検討（国の整備方針の検討状況を踏まえ、目標設定）

11 海洋エネルギー資源調査（企画県民）1,071 千円

但馬沖におけるメタンハイドレートの早期実用化に向けた研究開発を促進するとともに、
気運を醸成

○海洋エネルギー資源開発促進日本海連合への参画

活動内容 国・府県等による調査結果・制度の整理、開発に向けた今後の課題の検討、
国への提案 等

○広報活動

メタンハイドレートを活用した地域振興等に係る講演会の開催
(国の賦存量調査結果を踏まえ、目標設定)